



三〇三二
令和三年
一月一日 午前十時

初詣
しゅう しょう え

修正会

お寺の本堂で“正信偈”の
お勤めをして新年を迎えましょう。
ご家族づれでお詣り下さい。

白道

(びやくどう)
第203号
発行 願勝寺
企画 編集委員会
編集



**修正会にお参り
される方へ**

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、ご参拝の際は、マスク着用、咳エチケットや手洗い・うがいの励行など十分な予防対策を施してご参拝くださいますようお願いいたします。(アルコール消毒液、マスクは本堂入り口にも置いてあります)

なお、誠に心苦しく存じますが、新型コロナウイルス感染症拡大地域からご来能の方におかれましては、一月一日午前九時半から同十一時半までのご参拝は、何卒ご遠慮賜りますようお願い申し上げます。

また、十二月十八日以降に、能代保健所管内において感染者が発生した場合、時間を変更して修正会のおつとめをします。午前十時からのおつとめは中止とします。

東本願寺で門首交代

本年六月三十日をもって、真宗大谷派第二十五代大谷暢顯門首が退任され、七月一日に大谷暢裕門首後継者が第二十六代門首に就任され、併せて、暢裕門首の長男、裕氏が新門（門首後継者）に就かれました。



大谷暢裕 新門首

報恩講を翌日に控えた十一月二十日、東本願寺で大谷暢裕第二十六代門首（住職 六十九歳 釋修如）の門首継承式が営まれました。



大谷暢顯 前門首

暢裕門首と暢顯前門首
(前住職 九十歳 釋淨)

如）が阿弥陀堂と御影堂でお焼香をされ、暢裕門首が御真影（親鸞聖人御木像）の前で「南無阿弥陀仏を世界中の人に届けたいが、真宗にご縁をいただいた私どもの大切な使命」と宣誓されました。

門首継承式の模様は動画投稿サイト「ユーチューブ」で見られます。



門首継承式での宣誓

大谷暢裕門首

一九五一年八月十七日京都市生まれ。第二十四代大谷光暢氏の弟である大谷暢慶氏の長男で、大谷暢顯前門首のいとこ。一九五二年、父、暢慶氏の南米開教区開教使発令に伴いブラジルに渡る。サンパウロ大学物理学部学士課程卒業後、航空技術研究所に勤務し、物理学博士号を持つ。二〇一年十一月、真宗大谷派の鍵役・開教司教に就任。

任。二〇一四年四月、門首後継者に選定され、二〇一五年より日本で暮らす。ブラジル国籍。

大谷裕新門

ブラジル生まれの三十四歳。サンパウロ大学分子学科卒業後、東京大学大学院で数理科学を学び、博士号を取得し、現在は大谷大学大学院真宗学専攻修士課程に在籍。ブラジル国籍。

ボーイスカウト 報恩講

十一月十五日、秋田第六団での報恩講が勤まりました。例年カブ・ビーバーク隊は奥羽教務所での子ども報恩講に参拝しているのだが、今年はコロナ禍で中止となったため、六団のみんなでお勤めすることとした。

おかげで三十人強の賑やかな集いとなった。



お斎は保護者の方々がそれぞれ作ってきてくださり、それはそれを楽しいものであった。

集会のご案内

開法とは自分の人生を大切に生きるといふことです。教えを聞くことは心が貧しくならないといふことです。私にとって、最も必要なことであり、最も急がなければならないことです。

○親親会

毎月第一金曜 午後7時
「正信偈」を中心にした法話と話し合い。

○婦人十日会

毎月10日 午後1時半
観無量寿経を中心にした法話

○十五日講

毎月15日 午前11時半
音楽によるおつとめ、法話、お斎。

○宗祖御命日

毎月28日 午前11時半
おつとめ、法話

門徒であれば全員集合の日です。当番町によるお斎の接待があります。

○声明教室

随時

○同朋の会

随時

どの集まりも、残念ながら人数が多くありません。一人でも多くの参加開法を願っております。参加の方へは毎月八ガキ通信おとすれ(短信願勝寺)でのご案内致します。

《今号の言葉》

惑染凡夫信心発
証知生死即涅槃

「惑染の凡夫、信心発すれば、生死即涅槃なりと証知せしむ。」

「正信偈」のこの二句を「煩惱に染められたただ人が、如来の本願に出会い得たならば、迷いの真つ只中にあつても、その迷いのままで生きていく道があることがはつきり」と思い知らされる」と今の私は受け取らせて頂いておりません。

この言葉を聞くと、いつも思い出すことがあります。お気に入りの白いシャツを洗濯した日のことです。普段は洗濯をしないのですが、お気に入りのシャツだったので久しぶりに自分で丁寧に洗濯しよ

うと思ひ立ちました。ついでに買ったばかりのブルーのTシャツも洗つてしまおうと一緒に洗濯機の中へ入れました。液体洗剤を入れ、いい香りのする柔軟剤も入れ、洗濯が終わるのを楽しみにしながら待ちました。

綺麗になつたシャツを思い浮かべ、洗濯機のフタを開けると、「エッ！」と一瞬間固まつてしまいました。白いシャツがうつつらブルーになつてゐるではないですか。一緒に洗つたTシャツの青色が、色移りしてしまつたのです。シヨックでした。その後いくら洗つてもお気に入りの白いシャツには戻りませんでした。落ち込んでいましたが「仕方ないやん。そのまんま、ほん

のりブルーのシャツとして着たらええやん」との子どもの慰めの言葉に気づかされました。

真つ白なシャツが煩惱に染まらない在り方だとしたら、青く染まつたシャツは煩惱に染まつた私そのものです。どれだけ洗い流そうとしても落ちないのに、白く清らかであることにこだわり続けている。そうでは

令和三年………
年忌法要表

1	周忌	令和2年亡
3	回忌	令和元年亡
7	回忌	平成31年亡
13	回忌	平成27年亡
17	回忌	平成21年亡
23	回忌	平成17年亡
27	回忌	平成11年亡
33	回忌	平成7年亡
37	回忌	平成元年亡
50	回忌	昭和64年亡
		昭和60年亡
		昭和47年亡

なくて、むしろ煩惱に染められたこの身をそのまま頂いて生きていったらいいじゃないかと。

私たちはともすれば「こうであつては駄目だ」「こうあらねばならない」と自らを否定し、思い描いた自分になるうと努力を重ねます。時にその努力によつて自らを傷付けたりもします。また実現出来たら出来たでそんな自分を誇り、出来ない人を非難し、傷付けます。

今、この「正信偈」の二句を聞くと、いよいよ如来の願心に目覚め、そのまま生きていける道を歩めと促されていることに気付かされます。

(三好 泰紹)

出典「正信偈」

『真宗聖典』 (聖典206頁)

『真宗大谷派 勤行集』

(赤本23頁)

コロナ禍の報恩講

報恩講に向けてのお磨き 十月十一日

八月八日にお盆前のお磨きを予定していたのですが、前日に能代保健所管内で新型コロナウイルスの感染者が出たため、急遽中止となった。その分まで一生懸命に磨いてくださいとお願ひしたものです。だから、みんな汗びっしょり。とてもきれいに磨きあげることができま



なかなか磨きあがらない

した。
無事報恩講が勤まることを願ひしましょう。

お供えの紋菓

十年ほど前になるのだろうか。以前お願ひして



久しぶりに見る紋菓

いたお菓子屋さんがお店をたたんで以来、無地のなんとも味気ないものであったが、このほどお渡ししてあった木型が戻ってきた。

二十三日 午後一時半
初速夜

さあ報恩講が始まりました。
した。

コロナ禍のせい、天気
のせい、お参りがやは
り少のうございます。



マスクをして同朋唱和

でも、「一宗の繁盛と申すは、人の多くあつまり、威の大なる事にてはなく候う。」です。



御俗姓トツバッター

二十四日 午前八時
晨朝兼日中

ちよつと寒い。

雨も降つてみたり止んでみたりで気温は上がりそうにない。十三度くらいか。



私ただけなのでマスクなし

二十四日 午後一時半
大速夜



御伝抄卓などがお荘嚴されていません



昨日よりお参りが多い



御俗姓2番手 本番に強し



終了後、間隔を取って椅子を並べる

二十五日 午前十時
晨朝



今日も天気がよくない。風は強いし、時折雨がバラバラと降る。



5合飯の大仏供

何とか十二時に終了したく、お集り状況を見て、予定の十時より五分前に始める。

打合せ通り、住職の挨拶の終わりがけに大仏供登場。

さあ、どこのがそなえ換えられるのかと問いかけると、「阿弥陀様」との返事。残念。今日は言ってみれば親鸞聖人のご法事です。親鸞聖人の前がそなえ換え。



見事にいっぱいになりました

用意した椅子にピッタリの参詣者。間隔を取ったため満堂。

お勤めが始まりましたが、発声は僧侶のみ。

皆さん、我慢して黙っておられる。いつもと違い、なんか手持無沙汰かも。しかし、後日「僧侶



御文拝読【鸞聖人】

方だけのお勤めは心地よく、心静かにお参りできました」との声も。

三日間とも法話に代えてDVD。ところが後五分ほどで終了というところで、アレッ、どうして止まったの？

二十五日 午前十一時半
結願日中

塚本責任役員から挨拶をいただき、結願日中の



塚本真一責任役員の挨拶

お勤めをする。

やはり発声は僧侶三人のみ。しかも、真四句目下でなく草四句目下。五淘でなく三淘。三首のところを六首にした。

お焼香も回し焼香でなく、前に出てきていただいた。



お焼香も前で

三日間連続の御俗姓は、今日は住職が拝読。合掌しながら拝聴くださる人



御俗姓3番手 住職

もおられた。

最後に住職から御礼の挨拶。「コロナ禍ではこれが精一杯でした」と。その後皆さんにはお齋とお下がりを持ち帰っていただいた。



なんだかみんな少し寂しそう

終了後、いつものように片づけを手伝ってくださる人もいます。でも手伝ってくださった方が帰られる頃には、またきつい雨が降ってきてしまった。翌二十六日、御渡晨朝をお勤めし、無事コロナ禍の報恩講を終えることができました。ありがとうございました。

仏典マンガ・仏さまのおしえ

絵：小川ゆきえ



参考・『ジャータカ物語』

『ジャータカ』は、仏陀の過去生の物語集。パーリ語聖典では、22編 547話からなっています。多くの經典の中に引用されて、經典の広がりとともに、世界各地に伝えられました。(ジャータカ 166)

もしもし相談



亡き父のため
今できる事は？

問

今年の春、突然父が亡くなりました。私の母は私が小学生の時に亡くなり、以来、父は男手一つで、幼かった弟とわがままばかり言う私を育ててくれました。私が結婚し、弟も自立して家を出てからは、趣味を楽しんだり孫を可愛がったりと、自分の生活を楽しんでいました。風邪一つ引かない人でしたので、まさかこんな急に亡くなるとは思っていませんでした。思えば親孝行の一つでもしておけばと悔やまれてなりません。今更と思うのですが、亡き父のために何かできる事はないか、そんな思いが最近募るばかりで…。

(大阪府・主婦・33歳)

答

かけがえのないお父さまを突然亡くされた衝撃と、生前十分な孝行ができなかった自責

の念が伝わってきます。

私も二十一年前に女手一つで育ててくれた母を突然の病で亡くしました。それまで病気が知らずの元気な人でしたので、こんなに早く亡くなるとは思いませんでした。あなたと同じように、こんなに早く亡くなるんだったら、生前もつと孝行をしておけばよかったです。「ああしてあげればよかった」「こうもしてやれば…」と、しばらくは悔恨の思いに責められていました。

しかし、お内仏に座って手を合わせてゆく内に知らされてきたことがあります。それは、「ああしてやれば」「こうしてやれば」と思っても、それは思いであって、たとえ今、親が存命していても、結局は何もできないのではないかと。それどころか、その慰めの思いによつて、生前親に背き不孝を重ねてきた罪の意識をごまかし、良い子になろうとしている。そういう思い上がった薄情な不孝者が本当のおまえではないか、ということでした。

そういう私が、親の大きな愛情の中に育まれつつけてきた事実、ただ頭が下がるばかりです。このことは、子どもを持ってはいよいよ明らかに

知れることでしょう。

したがって私のできることは、亡き親に何かをしてあげるのではなく、いかに親の願いを明らかに知り、その願いにこたえて生きてゆくかということではないでしょうか。自分の不孝が気になるのも、亡きお父さまの願いが深くあなたに届いている証拠でありましょう。

その親の願いとは何かということですが、生前は人間としていろんな願いを子どもにかけますが、その根本はいのちそのものが願っている願い(本願)と一つではないかと思えます。亡き人は今はいのちそのものの世界(浄土)に還られて、そこから私たちを教え導くはたらき(諸仏)となつて、願い続けてくださっています。

その願いに覚めるには、いのちの根本の願いに真に目覚めた人(仏陀)の教えに聞いてゆくことが大切です。真実の教えの前に、賜

つたいのちの意義を問いつづけ、聞きつつけてゆくことによつて、どんな自分をもあるがままに認め、受け入れ、尊んでゆくことができ、同時に他の全てのいのちとも尊び通じ合つてゆきたいという願いに生きる。

それがいのちの願いであると同時に、人間として生きる真の喜びではないでしょうか。子どもが「生まれてよかった。ありがとう」と喜び、目覚めた世界へと歩んでゆく、それが真に親に応える道でありましょう。

それには、具体的には毎日お内仏の前で「正信偈」をお勤めし、お念仏を申してゆく。そして縁あるたびに聞法にいそしんでくださることをお願いいたします。

(藤井 善隆)

親鸞聖人の ご命日

願勝寺では二十八日午前十一時半から「お講」を開いています。

(二面集会のご案内)

十一月二十八日は親鸞聖人祥月命日です。



11時頃からお集りになる

お寺に来ればまずお焼香をして手を合わせるのですが、でも何やら映像が映し出されている。京都の東本願寺(本山)では毎年十一月二十一日から二十八日まで報恩講が勤められているの

ですが、今年に限ってはコロナ禍のためインターネットでのライブ配信が行われているのです。

それをお講の人たちに見てもらおうと、機材を設置。願勝寺でも同日にお勤めされるので、現地でのお参りはかなわない。特に今日のお勤めは坂東曲も勤まる。こんなことはまずないと、住職が着替えもせずにいるりと説明を始めた。



東本願寺活動中 念仏・和讃(坂東曲)

時間に合わせて燃香・立燭も整い、出仕僧は準備万端。住職もやつと着替えてはきたが、結局最後まで見ることとなった。



十二時十五分、願勝寺でもお勤めが始まる。まずお焼香をして、みんなで正信偈をお勤めした。

お齋の前に、先月の願勝



御門首(右端) 御退出

寺報恩講に三日間ともお参りされた方には住職から特



今年の皆勤賞は5名

編集後記

◎令和二年最後の白道をお届けします。

今年には新型コロナウイルス感染症で、お寺の行事も例年とは変更して行われました。門徒にとりましても誠に残念な一年でありました。それでも十月二十三・二十四・二十五日の報恩講は法話をDVDに変更して行われ、いつもと違う報恩講ではありましたが、しっかりと敬修することができました。鈴木君代氏の法話を楽しみにしていたら、思っていた方も多数おられたと思います。誠に残念でした。来年は新型コロナウイルス

別にプレゼントがあった。どうぞ皆さんもお参りください。

東本願寺での報恩講、毎年ライブ配信してくれたらよいのに。



スの感染も収束して、いつものようにお寺の行事が行われることを願う次第です。

(塚本瑞夫 記) 合掌

願勝寺HP

<http://ganshoji.web.fc2.com>

願勝寺ブログ

<http://ganshoji.blog.fc2.com/>

秋田第6団スカウトブログ

http://blog.ap.teacup.com/sc_akita6/